

令和4年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらす、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	43.8				50					60
実績	43.8				53.8					
指標名	みどり率									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	20.5									20.9
実績					20.8					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業により、北十間川西側区間(隅田川から東武橋付近)の一体的整備(親水テラス、区道、隅田公園等)を行い、うるおいとやすらぎが実感できる水辺空間の整備を進めた。	R1	1,951,598
	R2	1,028,926
	R3	1,037,207

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業の親水テラスなど新たな水辺空間が創出されており、引き続き整備を進めていく。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
区民や来街者などに、水と緑に囲まれたうるおいとやすらぎのある空間を提供するとともに、施設の老朽化や利用者ニーズの変化・多様化に対応した施設の再整備や維持管理を行う必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
区民や来街者などが水と緑に親しめるよう、水辺に囲まれた本区の地勢を活用し、水辺空間の整備や維持管理を進めていく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	公園等新設・再整備事業費	109,266	12,314	121,580	48	現状維持
					41.5	令和3年度
2	隅田公園再整備事業(日本庭園～言問通り)	9,577	13,194	22,771	48	現状維持
					46.7	令和3年度
3	公園及び児童遊園維持管理費	547,755	12,314	560,069	48	改善・見直しのうえ継続
					41.5	令和3年度
4	親水公園維持管理費	148,336	12,314	160,650	48	改善・見直しのうえ継続
					41.5	令和3年度
5	江東内部河川整備事業	6,212	8,796	15,008	50	現状維持
					53.8	令和3年度
6	北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業費	13,098	8,796	21,894	20,630	現状維持
					20,630	令和3年度
7	街路樹及び緑地帯維持管理費	105,678	5,277	110,955	27.8	現状維持
					27.2	令和3年度
8	公園及び児童遊園維持管理費(警備経費)	34,124	2,639	36,763	11,860	現状維持
					9,212	令和3年度
9	土木施設監察指導事務費	40	7,037	7,077	68	改善・見直しのうえ継続
					127	令和3年度
10	公園施設安全管理事業費	21,900	12,314	34,214	48	現状維持
					41.5	令和3年度
11	河川施設維持事業費	32,931	18,471	51,402	50	現状維持
					53.8	令和3年度
12	区民広場維持管理費	8,290	12,314	20,604	48	現状維持
					41.5	令和3年度

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位			
事業名	公園等新設・再整備事業費					1
目的	公園利用者のさまざまなニーズに応え、公園利用者が魅力を感じられる公園の新設・再整備を進める。 また、噴水やじゃぶじゃぶ池等の親水施設は、シンボリックな施設であることから、これら施設をリノベーションし、公園の魅力向上及び都市のにぎわいの創出を図る。					主管課・係(担当)
						道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者					
根拠法令 関連計画	都市公園法、河川法、墨田区立公園条例 墨田区公園マスタープラン					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5	
事業内容	<p>1 公園等新設・再整備 公園マスタープランにおける公園整備戦略プラン10に基づき整備する。 都市生活に水と緑の潤いを与えるまちの骨格となる新しい公園をつくる。 すみだを代表する風景のある公園をつくる。 気軽に行ける身近な公園を新しくつくる。 災害からまちを守る公園を新しくつくる。 誰でも快適に使える公園をつくる。 子どもを健やかに育てる公園をつくる。 訪れた人の心と体が健康になる公園をつくる。 歴史や文化を伝える公園をつくる。 地域コミュニティを育てる公園をつくる。 区民や事業者のアイデアを具現化できる公園をつくる。</p> <p>2 親水施設リノベーション 公園内の親水施設の老朽度、利用者による満足度、ライフサイクルコスト等を総合的に検証し、リノベーション又は施設の廃止を行う。リノベーションの際は、最新技術を用いた施設の導入により、新機能(ライトアップ、真夏のミスト、防火用水等)の追加やライフサイクルコストの縮減を図る。</p>					
経過	開始年度				終了予定	
	過去3年間の実績	<p>[令和元年度] 整備工事(柳島児童遊園、日進公園、横川東公園、業平公園、旧中川水辺公園、隅田公園喫煙所、銅像堀公園、両国公園)、実施設計(隅田川緑道公園、銅像堀公園)、検討委託(大横川親水公園)</p> <p>[令和2年度] 整備工事(東向島北公園、竪川親水公園、旧中川水辺公園)、基本設計(あずま百樹園)、実施設計(かしわ児童遊園、隅田川緑道公園)、検討委託(大横川親水公園)、用地取得(東向島北公園)</p> <p>[令和3年度] 整備工事(かしわ児童遊園、旧中川水辺公園)、基本実施設計(なつめ公園)、実施設計(両国第一児童遊園、あずま百樹園)</p>				
議会質問の状況	<p>[平成30年4定] オリンピック競技であるスケートボードができる公園を作ってほしい。</p> <p>[令和3年2月] インクルーシブ公園の早期整備をお願いしたい。</p> <p>[令和3年3月] 区にはじゃぶじゃぶ池が2箇所しかない。未就学児が水遊びできる施設を整備して欲しい。</p> <p>[令和4年2月] 親水公園の未整備区域において期間限定でキャッチボール等ができないか。</p> <p>[令和4年3月] 公園の整備を計画する際には、地元で十分周知するとともに、地元の声も取り入れて欲しい。</p>					
その他特記事項	大学誘致に伴う周辺整備事業費(あずま百樹園)を含む。					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		237,620	90,030	279,500	166,827	113,911	470,430
A.決算額(令和4年度は見込み)		228,277	76,508	274,393	157,703	109,266	470,430
財源	国	5,000					
	都	3,630		3,450			
	その他				4,448		
一般財源		219,647	76,508	270,943	153,255	109,266	470,430
執行率(%)		96.1%	85.0%	98.2%	94.5%	95.9%	100.0%
B.人コスト			9,056	6,789	7,058	12,314	
総事業決算額(A+B)		228,277	85,564	281,182	164,761	121,580	
予算書P(令和4年度)	P220 3-1	執行実績報告書P(令和3年度)			P163-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	実施設計等	29,238	委託料	実施設計等	52,058	委託料	実施設計等	65,900
工事請負費	公園等整備工事	26,349	工事請負費	公園等整備工事	57,208	使用料及び賃借料	集会所使用料	30
公有財産購入費	土地購入費	99,633				工事請負費	公園等整備工事	364,500
備品購入費	備品購入	2,484				公有財産購入費	土地購入費	40,000

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	新設・再整備公園数(累計)				単位	園
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		24	R7	目標	3	7	9	13
				実績	3	5	7	13
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	18	20	22	23	24
	実績	16	18					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区公園マスタープランによる2025年に向けた目標年次の整備数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	46.7		47	
				実績	46.7		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	48		49		50	50
実績	41.5							
指標の選定理由及び目標値の理由								
区内公園等の新設や改修工事を行ない、魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も継続して、老朽化した公園施設の再整備や改修を行っていく。

課題・問題点
公園マスタープランの公園整備戦略プラン10に基づき、一定の整備を推進してきた。しかしながら、平成29年に改正された都市公園法でPark-PFI制度が創設されるなどの民間活力の導入の視点や多種多様な公園の使われ方、区民ニーズの変化は急速に進んでいることから、新たなニーズに応えられる公園整備を進める必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	隅田公園再整備事業(日本庭園～言問通り)				2
目的	隅田公園の日本庭園から言問通りまでの範囲において、日本庭園の歴史的・文化的価値を生かすとともに、安全・安心に利用できる公園に再整備することで、公園の更なる魅力向上を図る。また、再整備に併せて民間活力を導入し(指定管理、施設設置)、更なる賑わいや公園北側への回遊性の創出を図る。				主管課・係(担当)
					都市整備課 都市整備・河川担当 03-5608-6294
対象者	公園利用者				
根拠法令 関連計画	都市公園法、墨田区立公園条例、墨田区公園マスタープラン				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3
事業内容	隅田公園の日本庭園から言問通りまでの範囲において、ひょうたん池のかいぼりや循環設備の改修、ひょうたん池を囲む楕円園路の整備、築山の切下げ、桜の列植、見通しを悪くしている樹木の整理、牛嶋神社南側の広場整備、民間活力導入(指定管理、カフェ等の施設整備)等を行う。				
経過	開始年度	令和3年度		終了予定	令和6年度
	令和2年度 基本計画 令和3年度 基本設計、学識経験者を交えた庁内検討会(計5回) 民間活力導入に向けた調査・検討(サウンディング型市場調査) 都市計画事業認可申請・取得 北十間川・隅田公園観光回遊路事業において実施				
議会質問の状況	[令和4年3月]民間活力導入について、参入意欲のある事業者はいるか。 今回採用を予定している民間活力導入手法の採用経緯について。 第2期再整備を進めるに当たって、地域の意見をよく聞くこと。 第2期再整備で終わらず、その先の再整備もしっかりと計画を立て取り組んでもらいたい。				
その他特記事項	今回、隅田公園で予定している民間活力導入の手法は、第1期・第2期再整備範囲を対象とする指定管理者制度と、その事業者によるカフェ等の施設設置(都市公園法第5条による設置管理許可)である。				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		-	-	-	-	10,000	146,685
A.決算額(令和4年度は見込み)		-	-	-	-	9,577	146,685
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	9,577	146,685
執行率(%)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.8%	100.0%
B.人コスト			0	0	0	13,194	
総事業決算額(A+B)		0	0	0	0	22,771	
予算書P(令和4年度)	P220 3-2	執行実績報告書P(令和3年度)			P163-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
			報償費	学識経験者報奨金	260	報償費	学識経験者報奨金	685
			委託料	基本設計ほか	9,317	委託料	実施設計ほか	23,000
						工事請負費	ひょうたん池工事	123,000

事業 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	再整備面積(累計)				単 位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		16,500	R6	目標	—		—	—
				実績	—		—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	0	2,400	2,400	16,500	
	実績	—	0					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	計画どおりに再整備を進めていくことが、公園の更なる魅力向上に繋がるため、活動指標とした。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	墨田区住民意識調査「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
50		R6	目標					
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		48		49		50		
実績	46.7							
指標の選定理由及び目標値の理由								
魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がるため、成果指標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	予定している整備を着実に進めるとともに、地元町会、関係団体等の協力も得ながら、事業効果を最大限に発揮していく。

課題・問題点
隅田公園を核とした地域活性化と向島方面など区北部への回遊性強化の観点から、言問通り以北の再整備について、今後検討していく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	公園及び児童遊園維持管理費				3
目的	誰もが公園・児童遊園を快適に利用でき、安全で安らぎが実感できる。				主管課・係（担当）
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	公園等利用者				
根拠法令 関連計画					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	区内にある141か所の公園・児童遊園において、清掃、除草・草刈、樹木剪定、施設の点検・補修等を適宜・適切に実施して、良好な状態を保つことにより、安全と安らぎが実感でき、快適に利用できる環境とする。				
経過	開始年度				終了予定
	立花一丁目・二丁目の公園・児童遊園、おしなり公園、錦糸公園においては、清掃及び植栽管理を一括して委託している。 堤通公園においては、遊具貸出の委託に清掃と植栽管理を包括している。 区内の60か所の公園等は、町会との公園愛護協定を締結し、区民による公園清掃等が行われている。				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		549,349	491,651	488,089	540,554	576,834	635,936
A.決算額（令和4年度は見込み）		509,351	471,658	472,953	521,011	547,755	635,936
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		509,351	471,658	472,953	521,011	547,755	635,936
執行率（％）		92.7%	95.9%	96.9%	96.4%	95.0%	100.0%
B.人コスト			9,056	11,316	12,351	12,314	
総事業決算額（A+B）		509,351	480,714	484,269	533,362	560,069	
予算書P（令和4年度）	P217 1-1	執行実績報告書P（令和3年度）			P160-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		37,770	需用費		37,583	需用費		41,764
	(光熱水費)	31,592		(光熱水費)	32,170		(光熱水費)	35,818
	(一般需用費)	6,178		(一般需用費)	5,413		(一般需用費)	5,946
役務費	清掃、ゴミ収集外	387,706	役務費	清掃、ゴミ収集外	383,830	役務費	清掃、ゴミ収集外	445,674
委託料	保守点検、廃棄物処分外	40,926	委託料	保守点検、廃棄物処分外	46,742	委託料	保守点検、廃棄物処分外	48,990
使用料及び賃借料	借上げ・リース等	12,674	使用料及び賃借料	借上げ・リース等	12,992	使用料及び賃借料	借上げ・リース等	24,599
工事請負費	維持補修	37,054	工事請負費	維持補修	61,612	工事請負費	維持補修	69,875
原材料費		4,445	原材料費		4,590	原材料費		4,613
備品購入費		438	備品購入費		410	備品購入費		421

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区立公園・児童遊園の清掃回数				単位	回/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		104	R7	目標	104	104	104	104
				実績	90	90	90	90
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	104	104	104	104	104	104
	実績	90	90					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託や愛護活動等により週2回清掃することを目標値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	46.7		47		
			実績	46.7		42.4		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		48		49		50	50	
実績	41.5							
指標の選定理由及び目標値の理由								
公園・児童遊園の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることにつながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	公園は遊び場や憩いの場所であることから継続した維持管理が必要であり、特に芝生の管理については課題も多く、改善が必要である。

課題・問題点
公園・児童遊園は、区民が身近に緑と親しめる貴重な公共スペースであり、適切に維持管理していく必要があるため、限られた予算の中で愛護活動団体やボランティア活動団体等を増やし清掃等を充実させ、維持管理コストの低減を図っていく必要がある。 芝生の管理については、多くの維持管理コストがかかるほか、養生期間中は芝生の利用ができないため、養生範囲等の工夫が必要である。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	親水公園維持管理費				4
目的	誰もが、大横川親水公園、豎川親水公園を、快適に利用でき、安全で安らぎが実感できる。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、親水公園利用者				
根拠法令 関連計画	都市公園法、墨田区立公園条例				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	大横川親水公園、豎川親水公園を清掃、除草・草刈、樹木剪定、施設の点検・補修等を適宜・適切に実施して、良好な状態を保つことにより、安全と安らぎが実感でき、快適に利用できる環境とする。				
経過	開始年度	平成5年度		終了予定	
	大横川親水公園 [昭和56年度] 整備工事開始 [平成5年度~] 開園(未整備区間 撞木橋跡~豎川間) 豎川親水公園 [昭和63年度] 整備工事開始 [平成5年度~] 開園(未整備区間 新辻橋~大横川合流点、四之橋付近)				
議会質問 の状況	[平成30年3定] 大横川親水公園で夜間に照明が暗い部分があるので改善してほしい。				
その他 特記事項	「豎川親水公園の維持管理に関する協定書」に基づく費用負担:墨田区(48/100)、江東区(52/100)				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		137,875	140,707	150,606	157,997	163,301	149,161
A.決算額(令和4年度は見込み)		118,703	123,436	134,463	138,185	148,336	149,161
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		118,703	123,436	134,463	138,185	148,336	149,161
執行率(%)		86.1%	87.7%	89.3%	87.5%	90.8%	100.0%
B.人コスト			9,056	11,316	12,351	12,314	
総事業決算額(A+B)		118,703	132,492	145,779	150,536	160,650	
予算書P(令和4年度)	P217 1-2	執行実績報告書P(令和3年度)			P160-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		11,582	需用費		10,703	需用費		16,042
	(光熱水費)	10,120		(光熱水費)	9,264		(光熱水費)	14,580
	(一般需用費)	1,462		(一般需用費)	1,439		(一般需用費)	1,462
役務費	清掃、草刈外	79,898	役務費	清掃、草刈外	78,556	役務費	清掃、草刈外	85,002
委託料	管理業務、保守点検外	22,385	委託料	管理業務、保守点検外	22,312	委託料	管理業務、保守点検外	23,778
工事請負費	維持補修	23,486	工事請負費	維持補修	35,969	工事請負費	維持補修	23,539
原材料費		836	原材料費		798	原材料費		800

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	親水公園の平均清掃回数				単位	回/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		117	R7	目標	117	117	117	117
				実績	105	109	109	110
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	117	117	117	117	117	117
	実績	110	110					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託や愛護活動等により週2回の清掃と落ち葉シーズンの清掃を合わせた清掃回数を目標値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	46.7		47		
			実績	46.7		42.4		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		48		49		50	50	
実績	41.5							
指標の選定理由及び目標値の理由								
親水公園の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることにつながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	施設の老朽化が進んでいるが、区立公園の中でも特に水と緑に触れ合える特色を持った公園であり、利用者が満足するような維持管理を継続する必要がある。ただし、大横川親水公園管理棟周辺は北十間川から錦糸町地区へとつながる拠点であり、再整備等による改善を検討する必要がある。

課題・問題点
親水公園は、区民が水と緑に親しめる貴重な公共スペースであり、適切に維持管理していく必要があるため、限られた予算の中で愛護活動団体やボランティア活動団体等を増やし清掃等を充実させ、維持管理コストの低減を図っていく。 大横川親水公園管理棟周辺は、北十間川のテラス整備等による水辺の連続化により、今後さらなるにぎわいの創出につながる場所であることから、再整備等を検討する必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	江東内部河川整備事業				5
目的	区内の水辺を十分に活用し、都市生活にうるおいとやすらぎを与える水と緑の骨格軸を整備する。				主管課・係(担当)
					都市整備課都市整備・河川担当 03-5608-6294
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	根拠法令：河川法、都市公園法、墨田区立公園条例 関連計画：江東内部河川整備計画（東京都）				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3
事業内容	1 調整業務 東京都施行の耐震護岸整備及び低水路護岸整備に関する連絡調整及び設計・施工協議 2 遊歩道整備工事 東京都施行の耐震護岸整備及び低水路護岸整備後に遊歩道を整備し、水と緑に親しめる空間を創出する。				
経過	開始年度	平成24年度		終了予定	令和7年度
	・H24～26年度 調整業務 ・H27～30年度 縦川遊歩道整備工事 ・H31～R元年度 調整業務 ・R2年度 横十間川修景施設整備実施設計委託 ・R3年度 横十間川修景施設整備工事（その1）				
議会質問 の状況	[令和元年9月]・新保健施設等複合施設建設計画を反映した河川整備（スロープ整備）について ・船着場の整備（門扉）及び門扉への鍵の設置について ・河川の水質改善及び東京都との協力について				
その他 特記事項	横十間川修景施設整備工事（R3～5年度）箇所に隣接して、新保健施設等複合施設が建設中				

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		30,554	85,375	0	5,000	13,000	37,000
A.決算額（令和4年度は見込み）		27,194	29,500	0	4,972	6,212	37,000
財源	国						
	都	13,500	21,735				
	その他						
一般財源		13,694	7,765	0	4,972	6,212	37,000
執行率（％）		89.0%	34.6%	0.0%	99.4%	47.8%	100.0%
B.人コスト			8,796	0	8,796	8,796	
総事業決算額（A+B）		27,194	38,296	0	13,768	15,008	
予算書P（令和4年度）	P 216 2-2	執行実績報告書P（令和3年度）			p159-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	修景施設設計委託	4,972	工事請負費	修景施設整備	6,212	委託料	護岸連続化委託	10,000
						工事請負費	修景施設整備	27,000

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	遊歩道開放区間(両岸累計)				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		6,559	R7	目標	1,764	2,694	3,374	3,899
				実績	1,764	2,694	3,374	3,899
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,209	4,519	5,179	5,539	6,019	6,559
	実績	3,899	3,899					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	護岸上の遊歩道を開放することで、親水空間の利用状況を把握することが可能である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
60.0		R7	目標	43.8				
			実績	43.8				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		50.0					60.0	
実績	53.8							
指標の選定理由及び目標値の理由								
河川護岸の維持管理状況を表す指標として、区民が公園や水辺を日常的に利用している割合とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公園や水辺を日常的に利用している区民の割合が約5割であることから、今後も継続して区民が快適に水辺を利用できるよう整備する必要がある。

課題・問題点
東京都の護岸整備進捗状況が遅れることにより、その後の区の遊歩道整備及び開放も遅れることから、常に東京都の事業進捗状況を把握するとともに、連絡も密に行っていく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位	
事業名	北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業費		6	
目的	北十間川西側区間（隅田川から東武橋付近）の水辺の整備（親水テラス及び船着場）やコミュニティ道路整備、隅田公園再整備及び小梅橋の架替えを実施することで、河川、道路、公園及び鉄道高架下の一体活用によるにぎわい創出と回遊性の向上を図る。		主管課・係（担当）	
			都市整備課 都市整備・河川担当 03-5608-6294	
対象者	区民、来街者			
根拠法令 関連計画	河川法、道路法、都市公園法、墨田区立公園条例、江東内部河川整備計画			
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤7	
事業内容	東京都の耐震護岸整備や東武鉄道(株)の高架下活用に合わせて、北十間川西側区間の親水テラス整備、小梅橋船着場整備、コミュニティ道路整備、隅田公園再整備及び小梅橋の架替えを行う。 また、北十間川樋門耐震化に合わせ、上部の開放及び動線の連続化を行い、回遊性の向上等を図る。			
経過	開始年度	平成26年度	終了予定	令和5年度
	平成26～28年度	北十間川水辺活用検討会・整備に係る関係者調整会議の実施、水辺活性化フォーラムの実施、北十間川水辺活用勉強会の実施、隅田公園・船着場・小梅橋架替工事基本設計委託の完了		
	平成29年度	整備に係る関係者調整会議の実施、北十間川水辺活用勉強会・検討部会の実施（計8回）、隅田公園・墨22（西側）・船着場・小梅橋架替工事実施設計の完了、旧橋撤去工事に着手、北十間川水辺活用協議会設置（H31.3.17）		
	平成30年度	北十間川水辺活用協議会・専門部会（計11回）の実施、隅田公園・墨22（西側）・小梅橋下部・上部整備工事に着手、隅田公園トイレ・墨22（東側）実施設計委託の完了		
	令和元年度	北十間川水辺活用協議会・専門部会（計10回）の実施、隅田公園・公園トイレ・墨22（西側）・親水テラス（西側）・小梅橋上部・下部・取付け道路整備の完了、墨22（東側）・親水テラス（東側）整備に着手		
	令和2年度	北十間川水辺活用協議会（計4回）の実施、墨22（東側）・親水テラス（東側）・小梅橋船着場整備の完了、隅田公園（日本庭園から言問通り周辺まで）再整備基本計画委託の完了、小梅橋家屋調査の完了		
	令和3年度	北十間川水辺活用協議会（計4回）の実施、北十間川親水テラス修景整備工事（その3）、交通量調査は実施見送り		
	議会質問 の状況	[平成30年3定]（陳情：不採択）隅田公園の樹木伐採について [令和2年9月、10月]隅田公園再整備（日本庭園の南側）について [令和2年3月、6月、9月、10月]三ツ目通りと区道墨22号路線の交差点での横断歩道設置について		
その他 特記事項	東京都の北十間川樋門耐震化工事等が遅れていることから、区が実施予定のテラス修景整備工事【樋門部】も遅れる見込みである。			

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		217,184	373,266	1,011,758	181,462	19,237	3,500
A.決算額（令和4年度は見込み）		210,570	350,376	897,750	173,998	13,098	3,500
財源	国				15,361		
	都				11,000		
	その他						
一般財源		210,570	350,376	897,750	147,637	13,098	3,500
執行率（％）		97.0%	93.9%	88.7%	95.9%	68.1%	100.0%
B.人コスト			21,988	21,988	21,988	8,796	
総事業決算額（A+B）		210,570	372,364	919,738	195,986	21,894	
予算書P（令和4年度）	P 212 4-5、P 216 2-1	執行実績報告書P（令和3年度）		P 156-5、P 159-1、P 163-2			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	学識経験者報奨金	100	報償費	学識経験者報奨金	75	委託料	交通量調査	3,500
旅費	管外旅費	108	需用費	協議会資料用消耗品	50			
需用費	協議会資料用消耗品	7	委託料	交通量調査	0			
委託料	北十間川水辺活用協議会運営等支援委託	1,500	委託料	北十間川水辺活用協議会運営等支援委託	1,400			
委託料	隅田公園整備計画策定支援委託	9,917	工事請負費	北十間川テラス修景整備工事	5,400			
工事請負費	墨22号	51,108	補償補填及び賠償金	小梅橋架替工事に伴う家屋補償	6,173			
工事請負費	北十間川テラス修景整備工事	54,034						
繰越明許	テラス修景設計 小梅橋船着場整備	48,425						

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	北十間川水辺活用協議会(地元協議会)の開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4	R5	目標	4	4	4	4
				実績	4	5	11	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4	4	4	4		
	実績	4	4					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	北十間川周辺の一帯整備に向けて、平成27年度から関係機関や地元町会・商店会が参加する地元勉強会をスタートさせ、その後に発展形として「北十間川水辺活用協議会」を設立し、水辺の整備や活用について協議を行ってきた。整備が完了するまでの間、協議会を継続するため、その開催回数を活動指標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	北十間川テラス・区道・隅田公園の整備面積(累計)				単位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		23,140	R5	目標	0	0	0	17,570
				実績				17,570
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20,630	20,630	21,180	23,140		
実績	20,630	20,630						
指標の選定理由及び目標値の理由								
北十間川親水テラス(枕橋～源森橋：(右岸)930m ² 、(左岸)460m ² 、源森橋～小梅橋：(右岸)1,100m ² 、(左岸)550m ² 、樋門部：1,500m ²)、区道墨22号路線(墨堤通り～三ツ目通り：1,410m ² 、三ツ目通り～言問橋：1,920m ²)、隅田公園(南側の一部：15,000m ²)、船着場(40m ²)、小梅橋(230m ²)の整備を行うため、成果指標とした。令和5年度までに、合計23,140m ² の整備を完了させる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	予定している整備を着実に進めるとともに、関係機関や地元町会・商店会の協力も得ながら、事業効果を最大限に発揮していく。

課題・問題点
三ツ目通り横断歩道設置に向けて、交通管理者との調整が難航している。 北十間川周辺の整備が徐々に完了していく状況で、今後、協議会がどのような役割を持ってどのような協議をしていくのか、協議会の今後のあり方を検討する必要がある。 先行する都の護岸工事及び水門の耐震化工事が予定より遅れているため、区工事の完了も遅れることが予想される。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	街路樹及び緑地帯維持管理費				7
目的	通行者が快適に通行できる良好な道路空間が確保できる。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	道路法				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	街路樹剪定及び緑地帯の手入れ、除草・清掃、害虫駆除等を適宜、適切に実施し、通行者が快適に通行できる良好な通行空間の確保を図る。				
経過	開始年度	昭和28年度		終了予定	
	過去3年間の実績 街路樹剪定本数(実績/目標) [令和元年度] 3,265/3,600本 [令和2年度] 3,663/3,600本 [令和3年度] 3,609/3,600本				
議会質問 の状況	[平成29年決特] 視界を妨げている私的植栽について、どのように認識しているのか。 [令和元年11月] 街路樹の台風対策はどのように行っているのか。 街路樹の整備について、中長期的な方針や計画をつくって推進するべき。				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		97,540	99,812	102,108	106,734	106,684	109,791
A.決算額(令和4年度は見込み)		96,374	99,299	101,294	106,508	105,678	109,791
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		96,374	99,299	101,294	106,508	105,678	109,791
執行率(%)		98.8%	99.5%	99.2%	99.8%	99.1%	100.0%
B.人コスト			9,056	4,526	4,411	5,277	
総事業決算額(A+B)		96,374	108,355	105,820	110,919	110,955	
予算書P(令和4年度)	P211 3-1	執行実績報告書P(令和3年度)			P154-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		947	需用費		901	需用費		1,016
	(光熱水費)	579		(光熱水費)	533		(光熱水費)	648
	(一般需用費)	368		(一般需用費)	368		(一般需用費)	368
役務費	剪定、清掃外	103,406	役務費	剪定、清掃外	102,624	役務費	剪定、清掃外	106,566
委託料	害虫駆除、花壇管理等	1,788	委託料	害虫駆除、花壇管理等	1,786	委託料	害虫駆除、花壇管理等	1,841
原材料費		368	原材料費		368	原材料費		368

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	街路樹剪定本数				単 位	本/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		3,600	R7	目標	3,600	3,600	3,600	3,600
				実績	3,666	3,383	2,909	3,265
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		実績	3,663	3,609				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	定期的な剪定や植替え等の維持管理を実施しているため、年間の街路樹剪定本数を目標値とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	「緑の豊かさ」を感じる区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		30	R7	目標	25.6		26.7	
				実績	25.6		23.5	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	27.8		28.9		30	30
	実績	27.2						
指標の選定理由及び目標値の理由								
街路樹や緑地帯整備だけでなく、剪定等の維持管理を適切に行うことが、緑の豊かさを感じる区民割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	街路樹の本数及び緑地帯の面積の大幅な増減はない。 老木、大木化した樹木の計画的な更新に合わせ維持管理を行っていく。

課題・問題点
プラタナス等、樹勢が強く夏季・冬季の年2回剪定が必要となる樹種については、剪定の頻度が少ない樹種への変更を進めているが、依然として年2回剪定の樹種が多数あるため、引き続き変更を進めていく必要がある。 街路樹の更新や維持管理に関する計画を作成し、より適切な街路樹の管理を行う必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	公園及び児童遊園維持管理費(警備経費)				8
目的	都市公園法や墨田区立公園条例等に基づき、路上生活者に対して注意・指導を実施し自立支援への案内を行う。公園及び児童遊園が適正に維持されている。				主管課・係(担当)
					土木管理課占用・監察担当 03-5608-6282
対象者	公園及び児童遊園の路上生活者及び不正行為者				
根拠法令 関連計画	都市公園法、墨田区立公園条例				
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先:サンエス警備保障株式会社
事業内容	路上生活者への注意、指導及び自立支援への誘導に重点をおいた公園警備委託事業を実施する。				
経過	開始年度	平成17年度		終了予定	なし
	平成31年4月から、豎川第一公園で東京都と23区の共同事業であう「ホームレス地域生活以降支援事業」が実施されている。 また、路上生活者への注意・指導及び自立支援のための相談窓口等の案内に重点をおいた公園警備委託事業を実施している。(平成18年度から、暫定的に土木管理課で事業を実施)				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		32,135	32,135	32,543	35,002	34,310	34,273
A.決算額(令和4年度は見込み)		31,856	31,856	32,379	34,087	34,124	34,273
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		31,856	31,856	32,379	34,087	34,124	34,273
執行率(%)		99.1%	99.1%	99.5%	97.4%	99.5%	100.0%
B.人コスト			2,953	2,626	2,647	2,639	
総事業決算額(A+B)		31,856	34,809	35,005	36,734	36,763	
予算書P(令和4年度)	P217 1-1	執行実績報告書P(令和3年度)			p160-1の一部		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	公園警備委託	34,087	委託料	公園警備委託	34,124	委託料	公園警備委託	34,273

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	パトロール回数				単位	回/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		365	R7	目標	365	365	365	366
				実績	365	365	365	366
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	365	365	365	366	365	365
	実績	365	365					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公園及び児童遊園の維持管理のために実施しているパトロールを指標とした。 平日は開庁時間である16時間の警備、土日祝日は24時間警備を実施していることから目標値を365回とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	不正行為等注意件数				単位	件/年
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
8,700		R7	目標	15,000	14,200	13,420	12,640	
			実績	14,971	8,775	9,342	8,006	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		11,860	11,080	10,300	9,520	9,000	8,700	
実績	9,212	9,803						
指標の選定理由及び目標値の理由								
公園及び児童遊園における不正行為等があった際、公園の適正利用を目的とした注意を行っていることから指標とした。なお、目標値は過去の実績数を基に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民等から寄せられる陳情について、適切かつスピード感をもって対応する。 また、公園内での不正行為等の防止を適切な指導を行い、誰もが安心して楽しめる公園施設の維持に努める。

課題・問題点
区民等から、安全かつ快適な公園が求められていることから、今後も費用対効果を勘案しながら、公園警備を維持していく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	土木施設監察指導事務費				9
目的	本事業により区が管理する道路等の土木施設における不正使用が是正され適正な利用ができています。				主管課・係(担当)
					土木管理課占用・監察担当 03-5608-6282
対象者	区で管理する土木施設を利用する一般区民及び企業者				
根拠法令 関連計画	道路法、河川法、都市公園法、車両制限令、墨田区土木施設監察事務処理要綱、東京都屋外広告物条例				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	区が管理する土木施設を適正に管理するため、定期的なパトロールと陳情等に対応した巡回を行い是正指導をしている。				
経過	開始年度	昭和50年度		終了予定	なし
	(1) 監察件数 ・令和元年度 281件 ・令和2年度 230件 ・令和3年度 243件 (2) 不定住者対応件数 ・令和元年度 56件 ・令和2年度 24件 ・令和3年度 26件				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		61	154	50	50	45	46
A.決算額(令和4年度は見込み)		58	116	41	41	40	46
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		58	116	41	41	40	46
執行率(%)		95.1%	75.3%	82.0%	82.0%	88.9%	100.0%
B.人コスト			12,797	11,359	7,058	7,037	
総事業決算額(A+B)		58	12,913	11,400	7,099	7,077	
予算書P(令和4年度)	P208 1-7	執行実績報告書P(令和3年度)			p151-7		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品	13	需用費	消耗品	12	需用費	消耗品	14
使用料及び賃借料	携帯電話の借上	28	使用料及び賃借料	携帯電話の借上	28	使用料及び賃借料	携帯電話の借上	32

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	監察指導件数(定期パトロール及び陳情)				単位	件/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		140	R7	目標	210	200	190	185
				実績	201	213	237	225
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	175	165	160	155	150	140
	実績	206	217					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区が管理する道路等の土木施設が適正に利用されるために、監察指導している件数を指標とした。目標値は過去の数値を基に設定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	継続是正指導中の案件				単位	件/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
60		R7	目標	80	75	70	70	
			実績	79	107	98	119	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		68	68	65	65	63	60	
実績	127	85						
指標の選定理由及び目標値の理由								
区が管理する土木施設の不正使用を是正するために本目標値を設定した。目標値は過去の数値を基に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	土木施設を適正に管理するため、定期的なパトロールを陳情等に対応した監察指導を実施しているが、継続是正指導中の案件が増加傾向である。是正指導を適正に継続しつつ、区民等からの陳情に対しては、素早い対応が必要不可欠であるため、所管警察、国道及び都道管理者と協力して迅速な対応を続けていく。

課題・問題点
昨今、土木施設における不法占有や不法行為が多様化しているとともに、区民から不法占用等に関する是正の要望も高まっていることから、所轄警察や東京都等と連携したパトロール・指導を強化する必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	公園施設安全管理事業費				10
目的	公園利用者が、安全で安心して遊具を利用できるようにする。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	公園利用者				
根拠法令 関連計画	都市公園法、墨田区立公園条例				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	公園遊具を安全・快適に利用できるよう、専門業者による安全基準の適合判断、老朽化による損傷度調査、遊具間の安全領域調査を行い、合わせて職員による日常点検により危険箇所の早期発見に努め、遊具の健全度と安全性を確保する。 令和元年度の遊具点検時に修繕等が必要と判定された232基を、令和7年度までに改修する。				
経過	開始年度	平成20年度		終了予定	
	[平成20年度～令和2年度] [平成25年度] [平成30年度] [令和元年度] [令和2年度] [令和3年度]	専門業者による遊具定期点検結果に基づく使用禁止措置及び改修工事 公園施設長寿命化計画策定(H26～R5) 遊具改修数 3件 遊具改修数 4件 遊具改修数 4件 遊具改修数 48件			
議会質問の状況	特になし				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		16,400	13,200	4,900	15,303	22,260	26,760
A.決算額(令和4年度は見込み)		14,416	13,078	4,626	14,671	21,900	26,760
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		14,416	13,078	4,626	14,671	21,900	26,760
執行率(%)		87.9%	99.1%	94.4%	95.9%	98.4%	100.0%
B.人コスト			9,056	11,316	12,351	12,314	
総事業決算額(A+B)		14,416	22,134	15,942	27,022	34,214	
予算書P(令和4年度)	P218 1-6	執行実績報告書P(令和3年度)			p160-5		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	遊具点検	2,079	委託料	遊具点検	2,079	委託料	遊具点検	2,303
工事請負費	改修工事	12,592	工事請負費	改修工事	19,821	工事請負費	改修工事	24,457

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	専門家による点検回数				単位	回/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
	実績	1	1					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	遊具の定期的な点検は、遊具に起因する事故を未然に防ぎ、安全に遊べる公園環境の維持に繋がるので目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	46.7		47	
				実績	46.7		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	48		49		50	50
実績	41.5							
指標の選定理由及び目標値の理由								
安全点検及び点検後の補修により利用者が安全に遊具で遊べる公園環境を維持していることで、区民満足度が向上する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公園利用者の安全に関わる重要な事業であることから、毎年、継続して実施する必要がある。

課題・問題点
最新の安全基準に適合していない遊具について、公園全体の改修計画なども勘案しながら事業を進めていく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	河川施設維持事業費		11
目的	「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づき、河川管理の一部を区で行うこととなっており、区内内部河川の護岸等、河川管理施設の適正な維持管理を行う。		主管課・係（担当）
			都市整備課 都市整備・河川担当 03-5608-6294
対象者	区民、来街者		
根拠法令 関連計画	河川法、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤6
事業内容	<p>「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づく法定受託事務として河川管理の一部（草刈りや清掃等の日常の維持管理、年1回の護岸点検、地震時における護岸点検など）を区で行っている。（対象河川：北十間川、横十間川、旧中川、大横川、竪川、旧綾瀬川）</p> <p>旧中川は、旧中川水辺公園として管理 北十間川の一部は、おしなり公園として管理</p>		
経過	開始年度		終了予定
	<p>旧河川法時代から機関委任事務として河川の維持管理を行っている。 地方自治法改正により、「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づく法定受託事務として引き続き河川管理の一部を区で行っている。</p>		
議会質問 の状況	特になし		
その他 特記事項	特になし		

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		39,704	33,583	26,796	30,838	35,096	59,629
A.決算額（令和4年度は見込み）		30,033	32,003	22,728	28,497	32,931	59,629
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		30,033	32,003	22,728	28,497	32,931	59,629
執行率（％）		75.6%	95.3%	84.8%	92.4%	93.8%	100.0%
B.人コスト			9,056	11,316	13,283	18,471	
総事業決算額（A+B）		30,033	41,059	34,044	41,780	51,402	
予算書P（令和4年度）	P 216 1-1	執行実績報告書P（令和3年度）		p159-1			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	(光熱水費)	696	需用費	(光熱水費)	962	需用費	(光熱水費)	1,140
	(一般需用費)	228		(一般需用費)	288		(一般需用費)	304
役務費		15,848	役務費		18,433	役務費		21,134
委託料		4,173	委託料		4,840	委託料		5,352
工事請負費		7,394	工事請負費		8,270	工事請負費		31,559
原材料費		160	原材料費		140	原材料費		140

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	河川護岸の草刈回数				単位	回/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	R7	目標	3	3	3	3
				実績	3.5	3.5	3.5	3.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	3.5	3.5				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	草刈の効果は視覚的にもわかりやすいので、年間3回草刈を行うことを目標値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		60.0	R7	目標	43.8			
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	50.0					60.0
	実績	53.8						
指標の選定理由及び目標値の理由								
河川護岸の維持管理状況を表す指標として、区民が公園や水辺を日常的に利用している割合とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	東京都の耐震護岸整備工事や低水路護岸工事により今後も新規にテラスや護岸通路が整備されるので、テラスや護岸の施設点検や維持補修を継続的に実施して、適正な維持管理を行っていく。

課題・問題点
今後、北十間川左岸（小梅橋～源森橋）や横十間川右岸（天神橋～神明橋）においても新たに遊歩道を整備する予定であることから、引き続き適切に維持管理していく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	区民広場維持管理費				12
目的	区民広場において清掃、除草等による維持管理を行い、快適な広場空間をつくる。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	公園等利用者				
根拠法令 関連計画	区民広場の設置及び管理に関する要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	<p>公園や児童遊園に該当しない区民広場については、公園と同等に安全で快適に利用できる環境としていくため、清掃・除草・樹木剪定・害虫駆除・施設改修を適宜、適切に実施し、良好な状態を保つ。</p> <p>区民広場 25箇所 8,313.91㎡</p>				
経過	開始年度	昭和56年度		終了予定	
	平成30年4月 ひいらぎ広場 492.14㎡ 平成30年4月 長浦いきいき広場 437.65㎡ 令和2年4月 いちご広場 264.09㎡ 令和2年4月 曳舟やすらぎ広場 326.34㎡				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		6,261	7,882	7,555	7,888	9,101	14,733
A.決算額(令和4年度は見込み)		5,178	6,882	7,070	7,193	8,290	14,733
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		5,178	6,882	7,070	7,193	8,290	14,733
執行率(%)		82.7%	87.3%	93.6%	91.2%	91.1%	100.0%
B.人コスト			9,056	11,316	12,351	12,314	
総事業決算額(A+B)		5,178	15,938	18,386	19,544	20,604	
予算書P(令和4年度)	P218 1-3	執行実績報告書P(令和3年度)			p162-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		1,052	需用費		943	需用費		1,102
	(光熱水費)	821		(光熱水費)	711		(光熱水費)	870
	(一般需用費)	232		(一般需用費)	232		(一般需用費)	232
役務費	清掃・草刈等	4,058	役務費	清掃・草刈等	4,040	役務費	清掃・草刈等	5,406
委託料	汚泥処理等	48	委託料	汚泥処理等	88	委託料	汚泥処理等	1,319
使用料及び賃借料		625	使用料及び賃借料		625	使用料及び賃借料		624
工事請負費	維持補修	1,181	工事請負費	維持補修	2,366	工事請負費	維持補修	6,050
原材料費		232	原材料費		231	原材料費		232

事業 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	区民広場の清掃回数				単位	回/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		78	R7	目標	78	78	78	78
				実績	66	66	57	57
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	78	78	78	78	78	78
		実績	57	57				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託や愛護活動等により週1.5回の清掃(落ち葉シーズンの清掃を含む)することを目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	46.7		47	
				実績	46.7		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	48		49		50	50
	実績	41.5						
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民広場の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることにつながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公園と同様に遊び場や憩いの場所であり、継続した維持管理が必要である。

課題・問題点
区民広場については、多種多様な目的で使用されることが増えてきており、公園と同様に適切に維持管理していく必要がある。 一方で、限られた予算の中で愛護活動団体やボランティア活動団体等を更に増やし清掃等を充実させるとともに、維持管理コストの低減も図っていく。